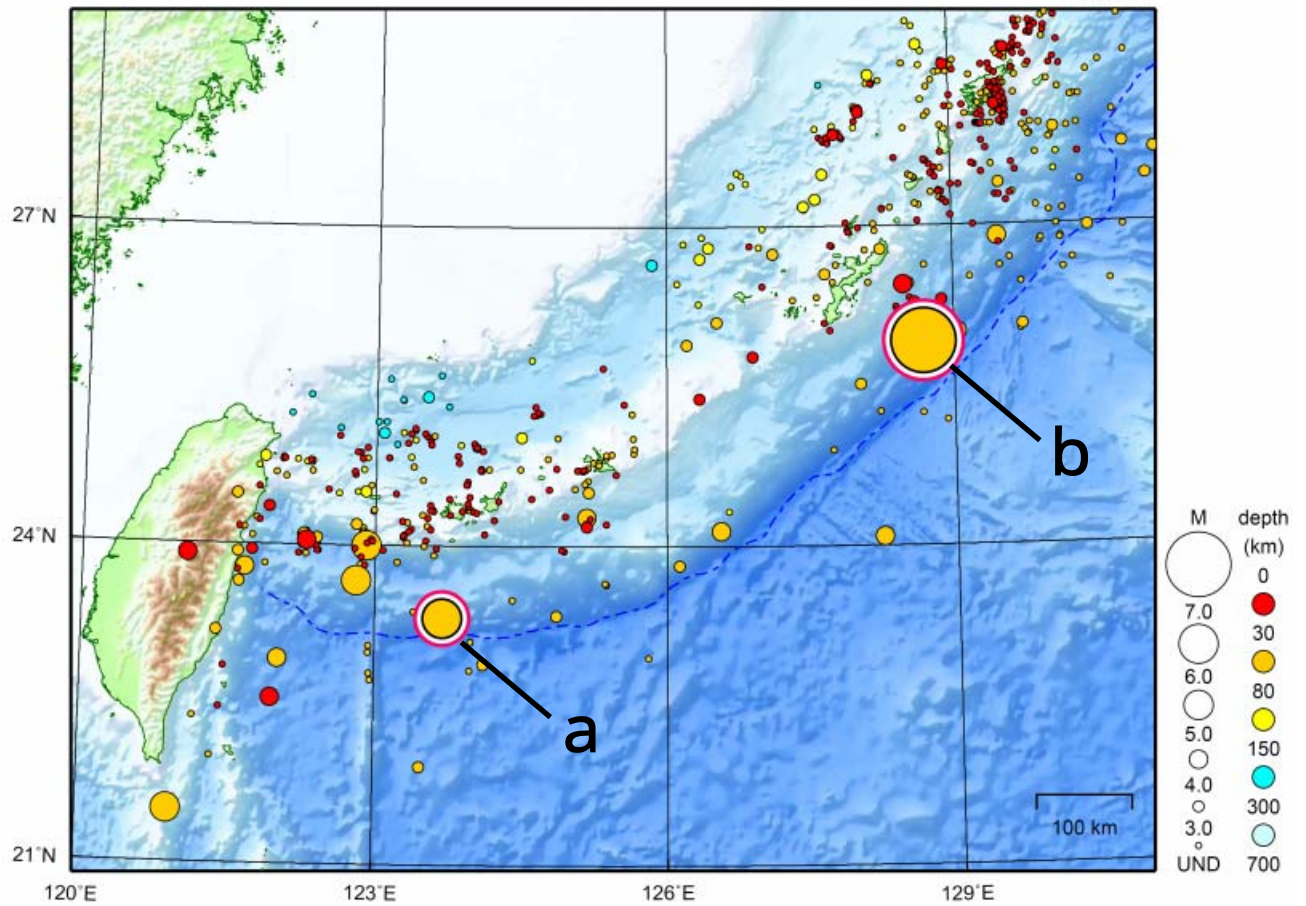


# 沖縄地方

2010/02/01 00:00 ~ 2010/02/28 24:00

N=1194



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- a ) 2月7日に石垣島近海で M6.5 の地震 (最大震度 3 ) が発生した。
- b ) 2月27日に沖縄本島近海で Mw7.0 の地震 (最大震度 5 弱) が発生した。

(上記期間外)

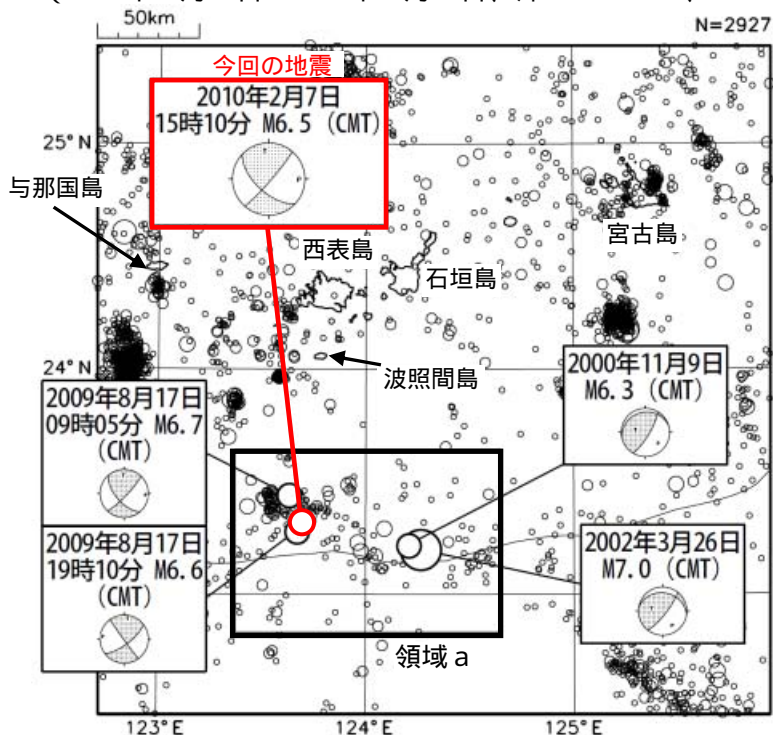
- ・ 3月4日に台湾付近で M6.4 の地震が発生した。

[ 上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。 ]

## 2月7日 石垣島近海の地震

震央分布図

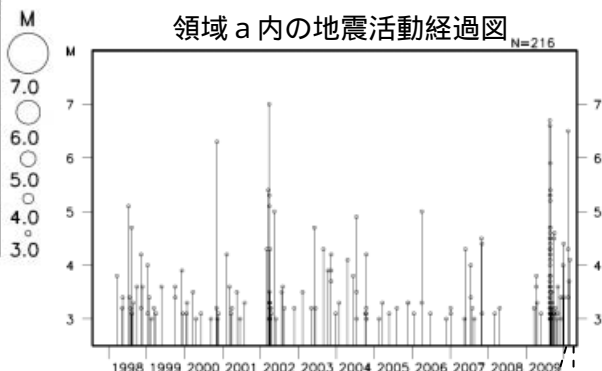
(1997年10月1日～2010年2月28日、深さ0～90km、M 3.0)



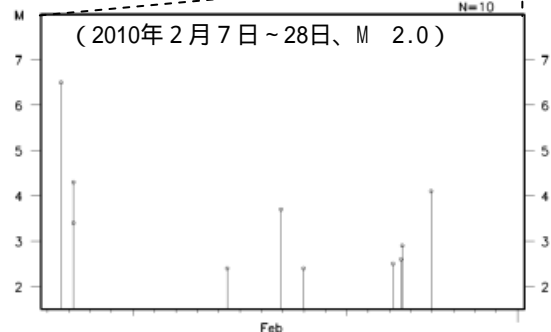
2010年2月7日15時10分に石垣島近海（石垣島の南南西、約120km付近）でM6.5の地震（最大震度3）が発生した。今回の地震の発震機構（CMT解）は、南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。気象庁はこの地震において、一時、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表したが、津波は観測されなかった。

今回の地震の震央付近（領域 a）では、2009年8月17日にM6.7とM6.6の地震が発生している。

領域 a 内の地震活動経過図



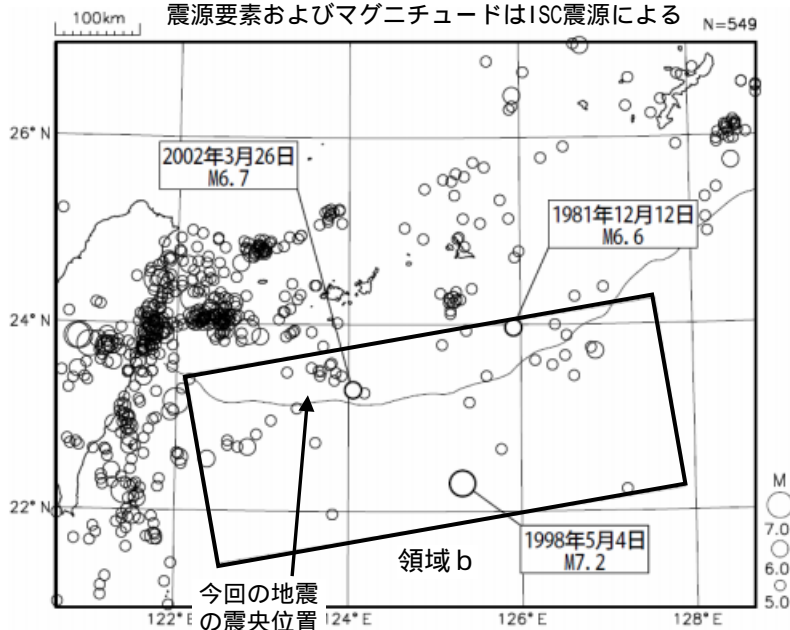
2009年8月の活動では、M5.0以上の地震が本震を含めて7回発生するなど活発な活動であったが、今回の地震ではM5.0以上の余震は観測されていない。



震央分布図

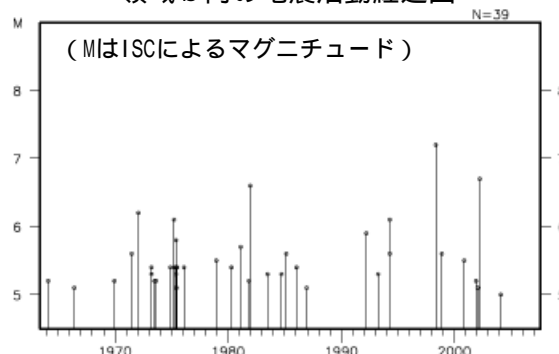
(1964年1月1日～2006年12月31日、深さ0～90km、M 5.0)

震源要素およびマグニチュードはISC震源による



過去の活動を見ると、今回の震央周辺の海溝軸沿い（領域 b）では、M6程度以上の地震が時折発生しており、1998年5月4日の地震や、2002年3月26日の地震では、沖縄県を中心に小さな津波を観測している。

領域 b 内の地震活動経過図

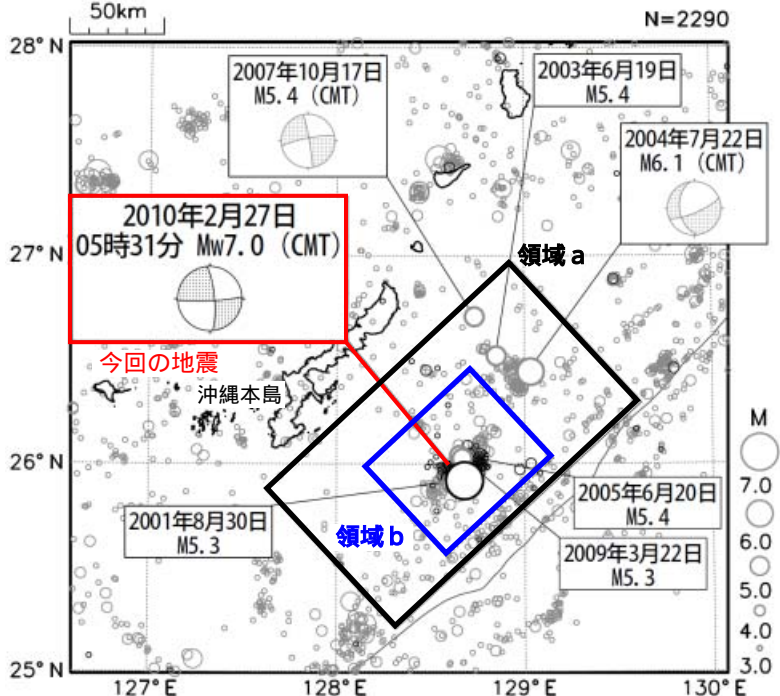


# 2月27日 沖縄本島近海の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2010年3月7日、深さ0～100km、M 3.0) 2010年2月27日05時31分に沖縄本島近海(那覇市の東南東、約100km付近)でMw7.0 (Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード)の地震(最大震度5弱)が発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震により負傷者2人、住家一部破損4棟等の被害が生じた(総務省消防庁による)。この地震によるM5.0以上の余震は3月7日現在、7回発生している。

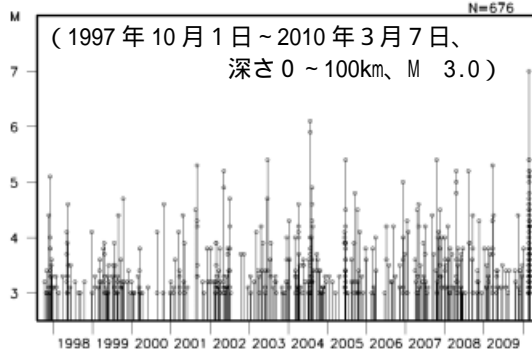
2010年1月以降の地震を濃く表示。



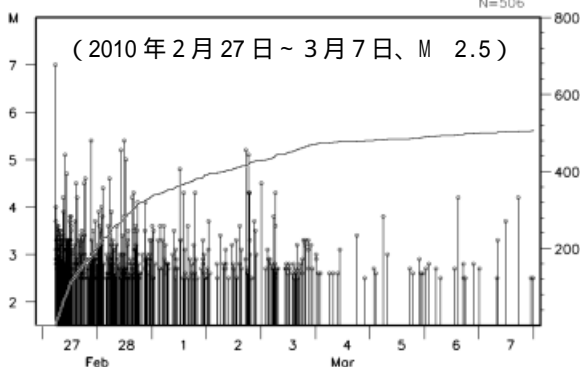
気象庁はこの地震において、一時、沖縄本島地方に津波警報、奄美諸島・トカラ列島と大東島地方、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表し、沖縄本島地方と大東島地方で津波を観測した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の震央付近(領域a)ではM5～6程度の地震が度々発生している領域である。

領域a内の地震活動経過図

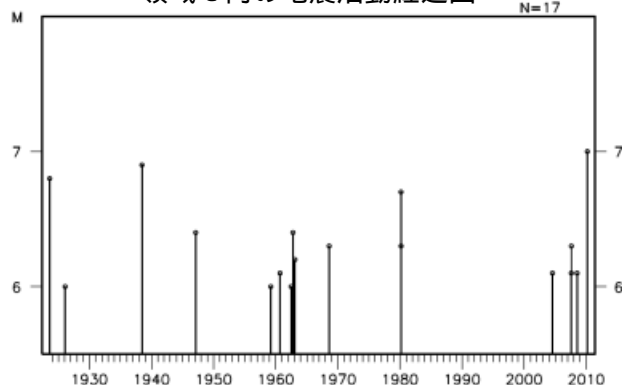


領域b内の地震活動経過図、回数積算図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6クラスの地震は発生しているが、M7.0以上の地震は発生していません。

領域c内の地震活動経過図



気象庁資料

震央分布図 (1923年8月1日～2010年3月7日、深さ0～100km、M 6.0)

